9月10日は全国下水道促進デー

私たちの生活が文化的に、あるいは便利になるにつれ、そこから生じる汚水（洗剤や油、ごみを含んだ生活排水など）は、湖沼・河川・海等公共用水域を汚し、そこに生きる動植物の生態を変えるなど、自然環境に大きな影響を与えています。

特に私たちの住んでいる亀田郷においては、近年の急激な都市化により鳥屋野潟の水質汚濁が進み大きな社会問題となっています。現在その水質浄化のため、新潟県及び流域三市町村（新潟市・亀田町・横越村）では、多大な費用をかけ浄化対策に取り組んでいますが、まだ環境基準に達しておらず根本的な対応策としての下水道の整備が急がれています。

進む下水道工事　進まない水洗化

これまでに下水道事業で整備された面積は二二六・七二ヘクタール、下水道普及率は七九％になりました。

しかし、処理区域全体から見ると水洗化率は、六五％とまだまだ低く、せっかくの施設の有効利用が図られない状況です。

下水道事業には、村税そして国・県からの多額の補助金や借入金、皆様からの受益者負担金で事業を実施していますので、整備した下水道施設は「みんなの財産」なのです。

供用開始区域内は水洗化が義務

この施設の有効利用および環境改善のため、まだ下水道に切り替えていない世帯も、早めに排水設備を整えてください。くみ取り便所を使用している世帯は、三年以内に水洗化することが法律で義務づけられています。また、浄化槽を利用している世帯も、速やかに浄化槽を廃止し、直接下水道に接続してください。

ご利用下さい　排水設備の融資制度

村では、早期に下水道をご利用していただくため、排水設備及び水洗トイレ改造工事に必要な資金の融資（大工、左官などの費用を除く）のあっせんをします。また、その利子の全部または半分を補給します。

○融資あっせんの条件

①処理区域内の建築物の所有者および土地所有者の同意を得た方

②村税及び下水道受益者負担金を滞納していない方

③貸付けを受けた資金の返済能力を有する方

④連体保証人一名を付すことができる方

○融資あっせん額
六十万円以内

○融資の利率
現在三・二五％

○融資時期
工事が終わり検査合格後となります。

○償還の方法
最高三十六ヶ月の元金均等月賦償還です。処理区域の公示日から

○利子補給
水洗化の時期によって異なります。

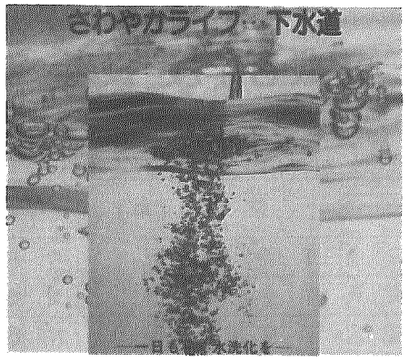
・一年以内の場合　全額
・二年以内の場合　半額
・三年以内の場合　なし
（融資のあっせんのみ）

※ご不明な点、詳しいことは役場・建設企業課に問い合わせください。

地域別水洗化率

○横越	七八・七％
○二本木	五九・〇％
○沢海	四二・七％
○木津	二五・一％

（平成8年3月31日現在）



下水道管・ポンプ場からのお願い

マンホールや公共ますのふたを開けないで

ふたを開けて、ゴミや雪などを入れたりすると下水道管やポンプがつまったりします。また、ふたが開いたままになったりして危険です。

砂・ゴミ・野菜くずなどは下水道に流さないで

下水道管がつまったり、悪臭の原因となります。

水洗トイレはトイレットペーパーを

水に溶けない紙（ティッシュペーパーなど）・紙おむつ・生理用品・タバコ・ガム・髪の毛などを流すとつまりの原因になります。

洗剤は粉石けんを

石けんは、処理場の微生物にとって大好きな食べ物。合成洗剤は、微生物の嫌われ者。処理場の働きを低下させたりして、処理場では完全に処理されません。

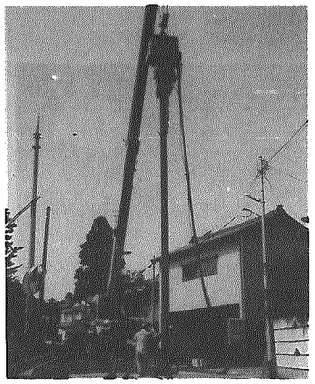
有毒・危険物を流さないで

ガソリン・シンナー・石油・アルコール・薬品などは絶対流さないでください。爆発などを起こし、大事故になりかねません。

てんぷら油などは流してはいけません

てんぷら油・サラダ油などは流すと下水道管の中で固まり、管をつまらせたり、処理場の働きを低下させます。

使えなくなった油などは、回収するか、新聞紙・ボロ布などにしみこませたり、油を固めるなどして、燃えるゴミとして出しましょう。


下水道工事

下水道排水設備工事 責任技術者認定試験

▶受験講習会　11月6日（水）
新潟市　新潟テルサ
受講料　5，000円
▶試験日　11月17日（日）
新潟市　明鏡高等学校
受験料　3，000円
▶申込み期間　9月9日（月）～9月20日（金）
▶問い合わせ　役場　建設企業課下水道係

姉妹村　美浦村とのホット情報交換（その5）

ふるさとの歴史と自然　カルチャーしてまちづくり②

～陸平貝塚～

今回のホット情報交換コーナーは、先月号に引き続き日本の文化財であり、ふるさとの貴重な宝でもある陸平貝塚を中心に進められている地域文化づくり事業についてご紹介します。

陸平学園・土器づくりに挑戦

美浦村が内外に誇れる貴重な文化財・陸平貝塚の魅力を地域の方々の手により様々な角度から採り、カルチャー（耕す）し、地域に根差した文化づくりを進めようとする事業は、『陸平貝塚のもつ自然や縄文文化にふれてみよう』というテーマで進められ、事業名も「ハンズ・オン陸平（陸平に触れてみる）事業」と名づけ、県の補助なども受けながら、講座の開設、祭りの実施、情報紙の発行、地域間の交流、推進協議会の設置等、住民参加のソフト事業として多くの人の参加を得て様々な活動をしています。

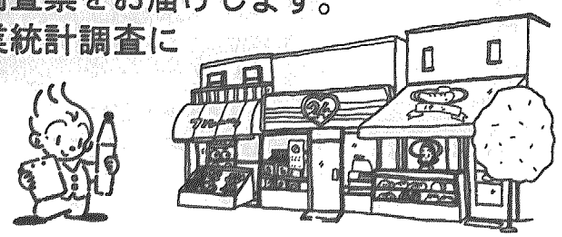
中でも特に人気があるのは、中学生以上の一般を対象とした「陸平学園ドキドキコース」と、子供たちを対象にした「陸平学園わくわくコース」と呼ばれる講座で、年間スケジュールには、縄文土器づくりや遺跡の発掘体験、まが玉作り、霞ケ浦の自然（魚・野鳥・野草）に親しむといった体験学習から陸平貝塚の歴史や自然についての講義、星の観察会など、縄文時代や陸平貝塚を取り巻く霞ケ浦の自然をより身近に楽しく学んでいます。

また、秋に陸平貝塚で開催される「縄文ムラまつり」には、子供からお年寄りまで多くの村民が訪れ、地域交流の場としても大変な賑わいをみせます。

また、これら〝文化起こし・ふるさとづくり〟を応援しようと、地域のみなさんで結成する『陸平をヨイショする会』も昨年から結成され、村が行う事業を応援していただくほか、同会主体の文化活動も展開されています。このように、今、美浦村では、ふるさとの歴史と自然をカルチャーして、地域づくりと村づくりの輪が広がっています。

昨年の縄文ムラまつりから

各事業所に調査票をお届けします。
事業所・企業統計調査にご協力を。
届いたら早めにご記入を。



10月1日、全国一斉に事業所・企業統計調査が行われます。事業所・企業統計調査は、国や都道府県、市区町村などのこれからの行政を考えていく上で、大切な基礎資料となるものです。

会社も、お店も、学校も、病院も。
事業所・企業統計調査
平成8年10月1日（火）
9月下旬から調査員がお伺いします。
総務庁統計局　新潟県